

サステナビリティに関する方針

制定：平成 28 年 4 月 19 日

1. 基本姿勢

当社は、日本アコモデーションファンド投資法人の資産運用会社として、環境への配慮等を始めとしたサステナビリティに関する取り組みが資産運用業務における重要な課題であるとの認識に基づき、三井不動産グループが定める「グループ環境方針」のもと、環境負荷の低減、安全・安心、快適性の向上及び様々な主体との多様な連携・協力を配慮した資産運用業務を行うよう努めます。

2. 法令及び規則の遵守

法令及び規則を遵守し、環境に配慮した資産運用業務に努めます。

3. 環境への配慮に関する取り組み

(1) 環境負荷の低減

① 省エネルギーと CO<sub>2</sub> 排出削減の推進

資産運用における効率的なエネルギー利用を推進するとともに、省エネルギーに資する設備等の導入を図り、省エネルギーを通じた CO<sub>2</sub> 排出削減の取り組みに努めます。

② 水環境の保全及び省資源・廃棄物削減の推進

節水への取り組みや節水型機器の導入等により水環境の保全に取り組みます。また、有害物質削減や省資源・廃棄物削減の取り組みに努めます。

(2) 安全・安心、快適性の向上

① 安全・安心の向上

主たる運用資産において、非常時の対応、平常時の備えを強化し、防災・BCP に関する取り組みに努めます。

② 快適性の向上

主たる運用資産において、快適性を向上させ、利用者であるテナント等の顧客満足度（CS：カスタマーサティスファクション）を高める取り組みに努めます。

4. 様々な主体との多様な連携・協力

(1) 社外の関係者との協働

本方針の実践のため、プロパティ・マネジメント会社及び地域社会等社外の関係者と連携・協力することに努めます。

(2) 役職員への取り組み

環境への配慮に関する研修などの教育・啓発活動の継続的な実施により、役職員の意識向上に努めます。

5. 投資家等の関係者に対する情報開示

投資家等の関係者に対し、本方針および本方針に基づく実施状況等の積極的な開示に努めます。